2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37207	生活習慣病の理解 Understanding Ageing, Dementia,	梶原稚子・山下祐司			2	選択	1.2年前期

科目の概要

超高齢社会を迎えた日本では、介護ニーズはますます高まっている。社会全体で支える仕組みとして介護保険という仕組みが作られた。介護保険の利用者に対してより良い支援を提供することができるよう、介護の知識・技術だけでなく、利用者との接し方、介護・福祉の考え方なども学ぶことが求められている。利用者が持つ老化や生活習慣病、認知症、障害といった側面を理解することで、建学の精神である真心・努力・奉仕・感謝に繋げていく。(ディプロマ・ポリシー①②③④)

学修内容	到達目標
① 人のライフサイクルを知り、老化による心身の変化を理解する。 ② 生活習慣病、認知症、障害を理解し、尊厳をもった支援の必要性を理解する。 ③ 老化による生活やその人の望む寄り添える支援について理解する。	① 老化による心身の変化をかただの仕組みをふまえ述べることができる。（ディプロマ・ポリシー①②③④） ② 生活習慣病、認知症、障害をからだの仕組みをふまえ述べることができる。（ディプロマ・ポリシー①②③④） ③ 利用者の尊厳を守り、その人らしい暮らしを支えることを述べることができる。（ディプロマ・ポリシー①②③④）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自分がやるべきことを見極め、自発的に取り組むことができる。 講師の発問に積極的に発言できる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	到達目標達成のために、他者からの意見を積極的に求めることができる。
	計画力	事前学習、レポートが多いため、計画的に自己学習を進めることができる。
	創造力	従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を意識して物事に取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	事前学習の内容を分かりやすく発表できる。 講義で獲得した知識を活用し、自分の意見を自分の言葉で他者に伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見を聴き、相手の表情やしぐさから理解を深める視点をもつことができる
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障を来す行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：介護職員初任者研修テキスト（第２版・第２刷）１～３巻　長寿社会開発センター
＊漢字が弱い学生はるびがついているテキストを購入すること（値段は同じです）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：介護職員初任者研修

学修上の助言	受講生とのルール
生活習慣病、老化について高校生物のレベルで事前に学習すること。講義中は常にメモをとること。講義後は自己学習ノートを作成して知識の整理をする。 専門的用語が多いので、ＡＩ等を活用し予習復習すること。	欠席した講義内容は、出席した学生に確認すること。 課題忘れの言い訳で講義を妨害しないこと。 講師の現場体験談はSNSや録音は禁止（個人情報保護法） 課題は講義前に教卓の上に置いておくこと。（講義開始になったら、遅れとする） 欠席レポートはシラバスを見て作成すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	20	①	✓			疾患の特徴ととその日常生活上の留意点について小テストを実施 点数は換算する。
				②	✓			
				③	✓			
		レポート	50	①	✓			生活習慣病4つ（①糖尿病、②高血圧、③脳梗塞、脳出血、④狭心症、心筋梗塞＋大腿骨頸部骨折）について、①解剖生理、②病態・症状、合併症、③検査、④治療、⑤生活上の注意点について事前学習レポートをA4用紙で、2枚前後各10点） ＊解剖生理はパソコン検索しコピー可能。解剖は図で学習すること ＊印刷できない学生は講義前までにクラスルームで送付すること
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①				事例事例（糖尿病を持つ、独居高齢者、認知症予防）の対象に家事援助、生活援助する際、配慮する内容を30項目考え、科学的根拠とともにレポートする。 ＊講義で説明するのでメモして生かすこと
				②				
				③				
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			・講義への参加態度やグループワークへの関わり方から各社会人基礎力を評価する。 ・遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題の未提出、グループワークへの非協力などが見られる場合は減点する。 （主体性）自分がやるべきことを見極め、自発的に取り組むことができる。 （実行力）課題に取り組む中で困難が生じても、目標に向かって粘り強く取り組むことができる。 （課題発見力）到達目標達成のために、他者からの意見を積極的に求めることができる。 （創造力）従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を意識して物事に取り組むことができる。 （発信力）講義で獲得した知識を活用し、自分の意見を自分の言葉で他者に伝えることができる。 （傾聴力）他者の意見を聴き、相手の表情やしぐさから理解を深める視点をもつことができる （規律性）無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障を来す行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(S) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、イメージした生活場面を生徒自身の言葉で説明できる。 (S) 講義中のグループワークの進行で、その場の役割を果たし、チームの課題達成に貢献できる。 (S) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性を理解し、必要な支援について列挙できる。 (A) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、その生活をイメージしテキスト等を用いて説明できる。 (A) 講義中のグループワークの進行で積極的に参加し、課題達成に協力できる。 (A) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性を理解でき、必要な支援についていくつか説明できる。	(B) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し説明できる。 (B) 講義中のグループワークの進行で、積極的に参加できる。 (B) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性を知り、必要な支援について説明できる。 (C) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、テキスト等を用いて説明できる。 (C) 講義中のグループワークを協力しながら進行できる。 (C) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害の特性や必要な支援についてテキスト等を用いて説明できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	①シラバスの説明 ②人間の尊厳 ③体の仕組みの学習の仕方 ・発熱、脊髄損傷などを通して練習する ④老年期の発達と老化に伴う心神の変化の特徴	講義	人間の尊厳が前提であることが述べることができる。 老化に伴う感情、記憶、性格の特徴と日常生活への影響について述べることができる。 疾患の学習の仕方がイメージできる。	(復習) シラバスを一度熟読すること。p. 88～100 (予習) p. 102～123 (糖尿病性網膜症まで) (課題) 目の解剖と見るしくみ	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	①老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 ②疾患の学習の方法 (白内障)	発問にて復習 講義	・フレイルが説明できる ・骨粗鬆症、リンパ、消化機能、ホルモンの仕組みを述べることができる。 ・老化に伴う感覚器、皮膚の変化を述べることができる。 ・疾患の学習方法が実践できる。 ・老化が与える身体への特徴 (循環器系、呼吸器系、腎・泌尿器系、筋肉運動系、抑うつ、睡眠、発熱、排便) と日常生活に与える影響を述べることができる。 ・次回から行う5つの疾患の事前学習が実践できる。	(予習) p. 174～175 (復習) 第1の予習ページ (課題) 糖尿病についてのレポート	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	①糖尿病の理解と日常生活の注意点	小テストで復習確認、解説 事前学習活用し講義 オンデマンド	・糖尿病の病態、症状、検査、治療、合併症について事前学習に追記できる。 ・血糖値コントロールする生活、合併症予防の生活が事前学習に追記できる。	(復習) 第2週予習ページ, 事前学習に追記 (予習) p. 173 (課題) 高血圧についてのレポート	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
4	②高血圧症の理解と日常生活の注意点	小テスト (糖尿病) で復習確認、解説 事前学習を活用して講義 演習 (血圧測定したことがない学生)	・血圧のしくみが記述できる。 ・高血圧の定義、症状、診断、合併症について事前学習に追記できる。 ・血圧をコントロールする生活、合併症予防の生活が事前学習に追記できる	(予習) p. 166～168p. 172 (復習) 第3週予習ページ、事前学習に追記 (課題) 大腿骨頸部骨折についてのレポート	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	①大腿骨頸部骨折の理解と日常生活の注意点	小テスト (高血圧) で復習確認、解説 事前学習を活用して講義	・大腿骨頸部骨折の病態、症状、診断、治療、合併症について記述できる。 ・上記が日常生活に与える影響を記述できる。	(予習) p. 166～168 (復習) 第4週の予習ページと高血圧の事前学習の追記 (課題) 脳梗塞、脳出血のレポート	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	①脳梗塞、脳出血の理解と日常生活の注意点【1】	小テスト (大腿骨頸部骨折) で復習確認、解説 事前学習を活用して講義	・脳卒中の病態、症状、診断、治療、合併症について記述できる。 ・上記が日常生活に与える影響を記述できる。 ・	(予習) p. 134～136 (復習) 第5週の予習ページ、事前学習への追記 (課題) 狭心症、心筋梗塞についてのレポート	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	①脳梗塞、脳卒中の理解と日常生活の注意点【2】 ②狭心症と心筋梗塞の理解と日常生活の注意点【1】	発問と事前学習で復習確認 講義 発表 (事前学習)	・脳疾患の病態、症状、検査、治療について記述できる。 ・上記が日常生活に与える影響を記述できる。 ・虚血性心疾患はの病態、症状、検査、治療について記述できる。	(予習) 第6週と同様＋p. 177 (復習) 第6週の予習ページ、事前学習の追記	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	①狭心症、心筋梗塞の理解と日常生活の注意点【2】 ②介護保険の特定疾患	小テスト (脳卒中) で復習確認、解説 虚血性心疾患は発問で復習 事前学習を活用して講義 演習 (脈拍測定)	・虚血性心疾患が日常生活に与える影響を記述できる。 ・介護保険が適応となる特定疾患があることを説明できる。	(予習) P180～215 (復習) 事前学習への追記と自己学習ノート作成	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	認知症の理解【1】 パーソン・センタード・ケア　認知症と物忘れの違い、認知症の種類	小テスト（虚血性心疾患）で復習確認、解説講義	・パーソン・センタード・ケア　認知症と物忘れの違い、ＢＰＳＤ、認知症の種類と特徴について説明できる。	（予習）P228～259 （復習）第8週の予習ページ	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	①認知症の理解【2】 認知症の人の健康管理、こころとからだの変化と日常、家族支援についで学びます。 ②オンデマンドの事例の説明	発問で復習確認 事前学習を活用して講義	・認知症の方の健康管理方法が説明できる。 ・家族の受容過程での援助方法が説明できる。	（課題）オンデマンドのレポート(11～14週は山下先生のため) （復習）第9週の予習ページ	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	障害の理解【１】 障害の基礎的理解	講義（山下先生） 振り返りシートのフィードバック	障害の概念とICF、障害者福祉の理念について概説できる。	（予習）障害者福祉の概念についてまとめる。 （復習）障害者福祉の理念をまとめる。	90	課題発見力 発信力
12	障害の理解【２】 身体障害・知的障害	講義（山下先生） 振り返りシートのフィードバック	身体障害、知的障害について概説できる。	（予習）身体障害、知的障害についてまとめる。 （復習）身体障害・知的障害への基本的な介護の考え方についてまとめる。	90	課題発見力 発信力
13	障害の理解【３】 精神障害・強度行動障害・難病	講義（山下先生） 振り返りシートのフィードバック	精神障害、強度行動障害、難病について概説できる。	（予習）精神障害についてまとめる。 （復習）難病についてまとめる	90	課題発見力 発信力 情況把握力
14	障害の理解【4】 当事者・家族の心理や受容と対人援助職としての役割	講義・演習（山下先生） 振り返りシートのフィードバック	家族の心理や受容について概説できる。	（予習）受容についてまとめる。 （復習）演習で学んだことをまとめる。	90	課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	事例を用いて尊厳ある生活援助を老化、病気の配慮を踏まえて考える。	オンデマンド レポート（課題はシラバスに記載、説明は糖尿病の講義で実施）	生活支援で注意する内容が根拠づけて30以上記載している。	（予習）事例レポートを講義前までにクラスルームに送付 （復習）教員からのコメントを見て2日以内に修正しクラスルームに送付	90	主体性 働きかけ力 計画力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力